

種まきのポイント

キッチンベジ 基本編

サカタのタネ

準備

育苗用の浅いトレー

または



イチゴパックの
底に穴を
あけたもの

または



平鉢
(4~6号くらい)
※1号=3cm



鉢底石



鉢底ネット



ふるい

あると便利なもの



ハガキ



わりばし



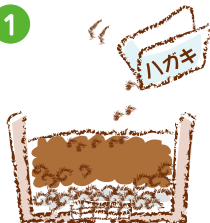
ラベル

※小さな苗は病気にかかりやすいので
病害虫の心配のない、
清潔で新しい専用の土をつかいましょう。

※育苗トレーやイチゴパックで
タネまきをする場合は、
鉢底石は必要ありません。

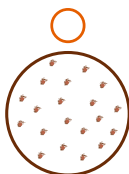
葉菜の場合(ガーデンレタス・パセリなど)のバラまき

1



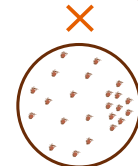
きれいにならした土に、
まんべんなくタネをおとします。

ハガキなどを折り曲げ、
タネをのせてトントンとたたいて
おとすとやりやすいです。
指でまく時は固まらないように。



まんべんなく

上から見ると...



かたまりすぎ
まきすぎ はダメ!

2



ふるいなどでかるく土をかけて、タ
ネが水で流れてしまわないように
手で軽く土をおさえます。

その後 お水を与えます。

(お水は水たまりにならないように、
何回かに分けて)

発芽するまで乾かさないように。

3

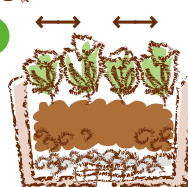


発芽!

芽 がでてきたら……

ひょろひょろや 小さい芽は間引きします。
また固まって芽が出てしまったところも間引きします。

4



成長に合わせて、生育のよいものを残し、
何回か間引きをして株間を広げます。
このまま育ててもよし、畑に植えてもよいです。
間引きした芽も食べられます。

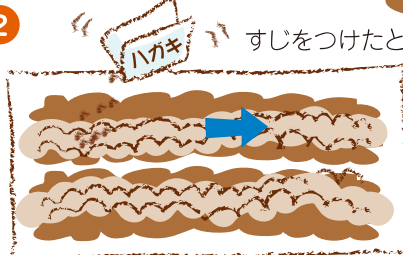
根菜の場合(ラディッシュ・ミニニンジンなど)のスジまき

1



まず指で
スジをつけます。

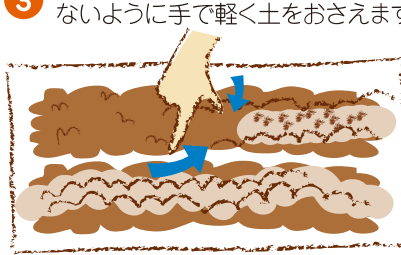
2



すじをつけたところに、タネをおとします。

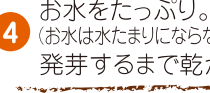
ハガキなどを折り曲げ、
タネをのせてトントンと
たたいておとすと、
やりやすいです。
指でまく時は
固まらないように。

3



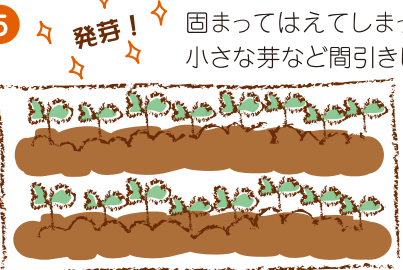
指をつかって左右から土をつまむよう
にかぶせたら、タネが水で流れてしまわ
ないように手で軽く土をおさえます。

4



お水をたっぷり。
(お水は水たまりにならないように、何回かに分けて)
発芽するまで乾かさないように。

5



発芽!

固まってはえてしまったところや、ひょろひょろや
小さな芽など間引きし、元気な芽を残します。
間引きした芽も食べられます。

6



成長に合わせて
株間を広げます。

※カブなどの根菜は
植えかえに向きませんので、
タネまきした場所で
育てましょう。

☆基本的なまき方として、「バラまき」と「スジまき」に分けましたがプランターや鉢、お庭のデザインに合わせて臨機応変に☆